

特集

第15回全国計量士大会開催

「新たな役割に込められる計量士像」テーマに

特集協力・日本計量振興協会



第15回全国計量士大会の様子

第15回全国計量士大会は、2月24日、京都市東山区のウェスティンホテル京都で、197名の参加で開催された。今回のメインテーマは「新たな役割に込められる計量士像」...

3 提案受けパネルディスカッション

日本計量振興協会(日計振)は「第15回全国計量士大会」を、2月24日、京都市東山区のウェスティンホテル京都で、197名の参加で開催された。今回のメインテーマは「新たな役割に込められる計量士像」...

吉岡勝彦計量行政室長が講演
計量行政審議会答申と計量士への期待

吉岡勝彦計量行政室長は「計量行政審議会答申と計量士への期待」をテーマに講演した。吉岡室長の講演は「計量行政審議会答申と計量士への期待」...

吉岡室長の講演はこのように、新しい制度の下での計量士の活躍を期待した。また、計量士の育成に関する意見交換を進めていく。



講演する吉岡計量行政室長

講演・意見交換の概要(1)

メインテーマ「新たな役割に込められる計量士像」

阿知波正之「コーディネータの主旨説明」

本日は、メインテーマとして「新たな役割に込められる計量士像」について意見交換をする。計量士部会の3名の委員にパネリストとして、3つのテーマ「検定検査に関する意見・提案」、「自動はかりに関する意見・提案」、「計量士の育成に関する意見・提案」について意見交換を進めていく。

(1)「検定・検査」に関する意見・提案

パネリスト 吉川勲

「器差のみ指定検定機関」を認める答申について、その背景として、「消費者ニーズの多様化、市場流通後...」と答申を引用しました。また、今回のテーマに必要だろう、ということではないかと思えます。

や技術革新に関する最新情報を提供することも、参加者相互の情報交換の場を設け、計量士の職域拡大と力量の向上を支援することを目的として開催している。今年で15回目。

開会の辞は阿知波正之計量士部長。主催者あいさつは石蔵利治副会長。来賓を代表して吉岡勝彦計量行政室長が挨拶した。日計振計量振興協会の計量士関係事業の取り組み状況を、河住春樹専務理事が報告した。

懇親会を開催した。司会は、白鳥慎治計量士部会長。白鳥慎治計量士部会長が挨拶した。桑山重光副会長が挨拶した。山口豊己京都府計量検定所長が来賓あいさつをした。木村雄太郎京都府計量協合理事長が乾杯の発声をして、全

大会プログラム

講演「計量行政審議会答申と計量士への期待」(吉岡勝彦計量行政室長)
意見交換「Vメインテーマ」新たな役割に込められる計量士像(コーディネーター:阿知波正之)
「計量士の育成」に関する意見・提案(万福良秋)
「器差のみ指定検定機関」に関する意見・提案(吉川勲)

Advertisement for JCSS ISO9001 certification and scale manufacturing by Iwabuchi Scale Works. Includes contact information for TEL 221-3869 and FAX 227-1178.

Advertisement for digital scale specialists offering maintenance and repair services. Includes a photo of a truck scale and contact information for Osaka Digital Co., Ltd.

(前ページから)

おこなわれれば事業所として嬉しゅうね。結論としては、「事業所は、スパン調整をしてもすぐに使用したい。生産体制を止めたくない」という要望がある。「人的、物的、知識、計量管理主任者が置かれている適正計量管理事業所は、修理事業者になるインフラが整備されている」、「しかしながら、スパン調整の作業自体は簡単であるものの、法的に修理検定を受けなければ使用できない」、「そこで、適正計量管理事業所と計量士団体とは、日常的に連携する関係にあるので、器差のみ検定の主体が計量士団体であれば、迅速な対応が可能になる」というこ



それでは、皆さんからでした。



スケールの検査は、従来どおり、検定所が検定に使用していた分銅をそのまま実用基準分銅として使用しています。検査機関として独自に分銅を持っていては、非常に精度の高い分銅が必要だと思えます。小型のはかりは、それで良いと思います。しかし、大型はかりの場合には、そのような事が簡単にできるのでしょうか、疑問がある。その点はどうでしょうか。



懇親会：山口京都府計量検定所長あいさつ

全国計量士大会 懇親会

主催 一般社団法人日本計量振興協会



懇親会：木村京都府計量協会理事長あいさつ



懇親会のようす



懇親会会場からの眺め

とです。これにより、かねてから適正計量管理事業所になればスパン調整をすぐに使用できるような権限を与えたらどうか、という要望に応えることができません。「器差のみ指定検定制度」を利用して適正計量管理事業所の魅力のアップと計量協会の活性化ができればと考えています。

質疑応答

阿知波正之(コーディネータ) 「検定・検査」への民間事業者の参入というところで「計量団体」が参入し、その中で中心となって計量士が活動するということに繋がる、あるいは、計量士が参入する団体への働きかけが必要になる、という提案

質疑応答

阿知波正之(コーディネータ) 「検定・検査」への民間事業者の参入というところで「計量団体」が参入し、その中で中心となって計量士が活動するということに繋がる、あるいは、計量士が参入する団体への働きかけが必要になる、という提案

青木鎮夫計量士(大阪) 大変結構なことだと思いますが、これに対しては、非常に精度の高い分銅が必要だと思えます。小型のはかりは、それで良いと思います。しかし、大型はかりの場合には、そのような事が簡単にできるのでしょうか、疑問がある。その点はどうでしょうか。

吉川勲(パネリスト) これは、県によって異なるかも知れませんが、京都府の場合は、トラック

青木鎮夫計量士(大阪) 良く分かりました。ただし、実用基準分銅に対する認識が非常に曖昧です。一般企業、行政でさえもあまり認識がないように私は思います。実用基準分銅が各所で使われているが管理マニュアル

阿知波正之(コーディネータ) 一部には、問題

塩崎利平計量士(富山) 仮に適正計量管理事業所

吉川勲(パネリスト) 適正計量管理事業所には検査設備が用意されているはずですが、また、「器差のみ指定検定制度」は、すでに指定定期検査機関に

塩崎利平計量士(富山) 持っているときには、修理事業者にならないで

吉川勲(パネリスト) 100トンの場合は、借用も含めて分銅を準備できる範囲で届け出ることであるので100トン分

塩崎利平計量士(富山) 一部だけやるということですか。

吉川勲(パネリスト) 一部だけということではなく、トラックスケールがずらっと並んでいるというよりも、それ以外の非

業務拡大へ積極的な取り組みを

日本計量振興協会副会長 石蔵利治

日本計量振興協会副会長 石蔵利治は、日本経済はこうした状況下、今年も製造業の景況感が改善して、デフレを克服し緩やかな景気回復が期待でき

です。日本経済はこうした状況下、今年も製造業の景況感が改善して、デフレを克服し緩やかな景気回復が期待でき

あつた「器差のみ指定検定制度」の創設や自動はかりの特定計量器への追加等、民間化促進の方向

塩崎利平計量士(富山) 意見交換会や討議の場を通じて今後のより有効な

吉川勲(パネリスト) 適正計量管理事業所の場合、大型になると、必ずしも、全部を揃えるという

塩崎利平計量士(富山) 一部だけやるということですか。

吉川勲(パネリスト) 一部だけということではなく、トラックスケールが

塩崎利平計量士(富山) 一部だけやるということですか。

吉川勲(パネリスト) 一部だけということではなく、トラックスケールが

皆様、本日はご多用の中、多くの方が遠路からご出席いただき誠にありがとうございます。また、米国のトランプ政権誕生以来、世界の政治経済は不透明な

すことをこの場をお借りして、ご承知のよう

本制度改正をチャンスと捉え、業務拡大のため積極的な取り組みをおこな

最後になりましたが、

吉川勲(パネリスト) 適正計量管理事業所の場合、大型になると、必ずしも、全部を揃えるという

塩崎利平計量士(富山) 一部だけやるということですか。

吉川勲(パネリスト) 一部だけということではなく、トラックスケールが

塩崎利平計量士(富山) 一部だけやるということですか。

吉川勲(パネリスト) 一部だけということではなく、トラックスケールが

から多数のご来賓のご出

い結果も考えられる情勢

本大会のメイ

考えます。

み検定をおこないます。

が特定計量器になると

速に対応できます。

(次号以下につづく)

速に対応できます。

創業・享保16年(1731年) 計量・計測機器専門総合商社

- 産業用(鉱工業、農業、水産、食品全般) ●試験研究用(試験分析、etc)
- 商業用(スーパー・ストア生産・販売管理用、etc) ●一般計量全般、工業計測器
- 産業用プリンター、自動計量・包装機 その他、計量・計測関連自動化・省力化システム全般
- ISO/IEC17025 (JIS Q 17025) : 2005 対応の質量・JCSS 校正証明証発行業務

当・質量校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。 JCSS0296は、当・質量校正室の認定番号です。

《計量・計測、包装、物流システム・計量管理コンサルタント》

塩崎商衡株式会社
URL <http://www.do-guya.co.jp>

取締役会長 塩崎利平 一般計量士
代表取締役社長 塩崎吉康 一般計量士

本社 / 〒933-0929 高岡市木舟町 70
TEL0766-25-0038 FAX0766-25-1120
IP 電話 050-7528-2101

営業 / 〒933-0942 高岡市川原町 1-8
TEL0766-25-0048 IP 電話 050-7505-5416

技術部 / 〒933-0914 高岡市小馬出町 85
TEL0766-25-0198 IP 電話 050-7505-5416

日本計量新報

ご購入をお願いいたします。

弊紙は計量・計測・科学に関する政治・経済・文化・新製品・ニュース、新技術その他関連する事項をすばやく詳細にお伝えする計量専門新聞です。お問い合わせは、TEL 03-3220-5170

東京計量士会
会長 横尾明幸
TEL 136-10075 東京都江東区新砂3-13-14
電話 FAX 03-15683-1112

愛知県計量士会
会長 阿知波正之
〒456-0012 名古屋市中熱田区沢上二丁目8-17
(阿知波計量士事務所内)
電話 (052) 9381-7433
FAX (052) 9381-7432

香川県計量協会計量士部会
会長 渋谷弘
〒761-1803
高松市郷東町五八七-1
TEL 0877-118822
FAX 0877-115175